

# 群弓連だより

107号

群馬県弓道連盟

平成 26 年 5 月  
発行人 須田 定雄

## 新里支部の活動概要

新里支部長 青木 廣行

### 支部の沿革

私が弓道を始めたころ新里村は、勢多支部に属しており勢多郡内の東、新里、粕川、大胡、富士見、北橋、赤城の各町村の弓道愛好家約80人で構成されていました。その後勢多郡は市町村合併により前橋市、桐生市、渋川市、みどり市に編入され、新里村は桐生市と合併して新里支部として独立したのです。

新里弓道場は5人立ちで、当時新里村長であった長澤正三様の多大なご理解により昭和60年5月に完成し同7月に開設披露をしています。新里弓道場が出来る前は、愛好会的な集まりで、普段は岐弓館杉山道場や大間々町弓道場で稽古をしており、県民大会（郡民大会）の時などは役員の方が奔走して選手集めをしていたと先輩方から話を伺っております。

新里町弓道場へ来た方は、塚（安土）の屋根が低く、また、看的小屋が塚（安土）敷の芝よりも30センチくらい低く、段差があり変な造りだなど、不思議に思われた方もいると思いますが、これは道場建設中に塚本政五郎支部員が見学に行き図面を見せて貰ったところ、現在は競技規則第31条で道場床面と塚敷面とが水平となっておりますが、古い競技規則によると床面と塚的の中心が水平と定められていたようで、現在よりも27センチ低い構造になっていたのです。

建設業者も初めての弓道場建築なので、近隣の弓道場を見学に行ったり競技規則を見たりして設計をしたそうですが、古い競技規則を見て設計をしてしまったようで、しかも建設工事は半ば以上進んでおり、すぐに村役場担当者や設計者と協議して変更をお願いしたのですが、建物はすでに完成していたので仕方なく矢道に土盛りをするなどして現在の競技規則に合った弓道場になったので、看的小屋が塚敷よりも27センチ低く、塚の屋根も長身の人は頭がぶつかるくらいに低いのです。

競技規則が変更になった理由は、体育館などでも射会や稽古が出来るようにと変更されたそうです。（競技規則が変更になった年月が分かりませんので、知っている方がいましたら塚本か青木に教えていただければありがたいです。）

### 支部の運営

話は逸れましたが、運営資金は、支部員からの年間4,000円の会費と新里町体育協議会からの補助金（2万円から6万円）で運営しており、この中から弓道場使用料として1回300円、年間約5万円を支払うと補助金はチャラになってしまい、この補助金以外には行政からの支給や補助は一切なく、弓道教室の消耗品・備品の購入や芝刈り、同ガソリン代金等、毎年夏に開催している参加費無料の暑気払い大会の費用の捻出に苦労している状態です。

### 稽古の方法・道場の使い方

弓道場開設と共に部員の数も多くなって、当時は一手射るにも順番待ちで稽古をする状態で、勢多郡内の射会には乗用車2～3台に分乗して参加し、新里村の部員が到着しないと射会が始まらないという時期もありました。（チョット大げさです）

稽古日は毎週月水金曜日の午後7時30分から午後9時30分までとなっていましたが、稽古日以外でも道場へ行けば誰かおり、曜日には関係なく稽古が出来ました。（当時の道場使用料は年間契約でいつでも使用可）しかし、平成20年前後から部員数が減少し、現在は持ちの状態が稽古が出来る悲しい現状になってしまいました。私が入部した平成6年ころは、当時の部長がA支部のB先生に懇願し、毎週木曜日に出張していただき特別に指導を受けていた時期もありました。

道場の鍵は新里支所より1個預かって、原則として道場近くに住む部員の家に保管しておき、使用時に取りに行き使用簿を記載して持ち出し、使用後は返却に行くという状態にしています。

## 新入会員の獲得等

ご多分に漏れず当支部も高齢化が進みこのままでは老衰死してしまうことから、市の広報誌等で弓道教室の開催をアピールし、部員の獲得に努め毎年3～4人の希望者が参加してくれますが、長続きせず一年くらい稽古に来ていた方でもチョット休むと来づらくなるのか、そのまま音沙汰が無くなってしまおう方が多く、部員の数は横ばい状態です。そこで平成25年から退職した方や主婦向けの昼間の教室と、有職者向けの夜間の教室をダブルで開催して何とか新入会員の確保に努めています。

## 大会

1 毎年7月の最終日曜日の午後1時より暑気払い大会を実施。5年に一度の割で新里町弓道場創設記念射会を実施。

次回の記念射会は、来年の平成27年に第30回大会を開催予定で、いずれも各支部へ招待状を送付しています。

2 支部としての射会は、毎月第三金曜日に月例射会、正月には賞品持ち寄りの初射会。春季、秋季射会を実施していましたが、参加者不足で実施がままならない困った状態です。

県内でもっとも弱小の支部であります。部員一同「正射必中」の心意気で稽古に励んでおりますので、今後ともよろしくご指導をお願いいたします。

## ◆平成26年度一般会計予算議決

3月30日通常総会において、原案通りに可決された予算を掲載します。予算総額6,192千円対前年比918千円の減額となっています。

### 平成26年度群馬県弓道連盟一般会計予算書

会計資料につきましては内部情報の為、インターネット上での公開がふさわしくないと判断し、非公開としております。

会計資料につきましては内部情報の為、  
インターネット上での公開がふさわしくないと  
判断し、非公開としております。

## 弓道をふりかえって

範士八段 大島 善春

### 1. 弓道を始めたきっかけ

私は昭和2年3月生まれ、父が昭和2年7月、34歳にて他界していますので、父の思い出は全くありません。父が他界した後、伊勢崎市宮前町の実家に、母は私を連れて戻って来ました。実家は大きな織物染色業を行っていたので、母はその仕事の手伝いをしておりました。祖父が屋敷に三人立の道場を持ち、弓を引いておりましたので、10歳頃より弓で遊んでおりました。祖父が弓を誰に教わり、何流だったかは定かではありません。祖父の名は飯島偽三郎、78歳で昭和14年12月24日に亡くなっています。まだ小学生だった私は、祖父に弓を教わったという記憶はありません。

### 2. 本多流との出会い

昭和13年県立伊勢崎工業高校入学し、祖父の影響もあり弓道部に入部しました。学校に道場はありましたが、射撃場と一緒にしたので、弓道場とは名ばかりの土間の道場でした。当時の伊勢崎には小笠原流の膳栄次郎先生の道場と、本多流の荻原喜代次先生の道場の、二つの道場がありました。荻原喜代次先生の立派な寿徳館が学校のすぐ近くにありましたので、その道場で稽古しておりました。荻原先生は本多流の師範でしたので、初めから本多流を学んでいました。

昭和47年、荻原先生の道場が閉鎖になり、その後伊勢崎市営弓道場が作られた時に、本多流生弓会（せいきゅうかい）伊勢崎支部は荻原先生の道場の名を継ぎ「寿徳会」と命名され、現在も続いております。

当時は流派が幾つも有り、とても審査も厳しく、流派が違うとなかなか審査も通りませんでした。私も初段に合格するのに2回落ち5年余りでやっと合格出来ました。学科試験の立会人は警察官でしたので、今とはだいぶ違います。また当時、県道場は現在の県庁の北にあり、よく出かけて行きました。

昭和17年、まだ学生で戦争中でしたが、本多流の本部宗家が東京巢鴨にあり、荻原喜代次先生方に連れられて、射会に参加しました。しばらく諸先輩方の射を見ていると、利時二世宗家から「一手引いてみなさい」と言われ、詰襟の学生服の上着を取り、弓を引くことになりました。私が引き始め、大三から会に入ったところで、急に空襲警報のサイレンが鳴り始めました。私は弓を引き絞ったままだったので、途中で止める訳にもいかず、充分保って矢を放ちました。その矢は真直ぐ飛んで的中しました。閉会の時、宗家より「空襲警報に負けず、よく頑張った。立派だった。」とお褒めの言葉を頂きました。これが私と本多流との本格的な出会いだったと思っています。

### 3. 生活のために働いた日々

戦争が激しくなり、卒業を3月から12月に繰り上げ、それと同時に軍需工場に入社しました。職場にいても時々空襲警報があり、その度に工場外に避難していました。伊勢崎も終戦の前日8月14日に空襲に遭い、殆ど市内は焼けてしまいました。目の前に重傷者がいても何もできません。15日の終戦で、いろいろな流言飛語が飛び交い、女は坊主にして、男に見られる様に顔に墨を塗れなど言われていたのを記憶しています。

しばらくは仕事も無く畑仕事をしておりました。昭和21年、荻原先生は織物工場を経営されていたので、仕事を手伝ってほしいとの話があり就職しました。しかし製材業も行っていたので、仕事はその手伝いばかりで

した。私は小学生の頃より自分の仕事は伊勢崎銘仙を創る事と決めておりましたので1年で退職し、自分で織物関係の仕事をする事にし、20歳の時に起業したのです。最初は綿から糸を紡ぐ手紡でした。近くでその仕事を行っている人からの下請けです。女の子を7名ほど雇い、しばらく行っていましたが、昭和23年、伊勢崎市が大洪水に遭い、従業員も全員退社してしまいました。

何年か過ぎ、銘仙の製造が始まりました。柄を書くことから仕上げまで、全て自分で行うのです。一番大変なのは柄を描く事です。色と柄のバランスや、着る人の年齢層まで考えなければなりません。同じ糸を使っても、柄が悪ければ売れません。良い柄の着物が出来れば追加注文があります。現在でも着ている着物の中には、自分で創ったものが幾つかありますが、今見ても良い着物であると思います。

しかし銘仙も昭和30年頃より着る人が少なくなり、昭和33年頃この仕事を辞めることになってしまいました。その間何度か問屋が倒産し負債を受け苦勞もしました。この頃は仕事が厳しく、しばらく弓を引く余裕は全くありませんでした。次に製袋業を始め、東京からの注文を受けられ、従業員も数名雇い、仕事も順調に進み、生活や身体に余裕が出て来ました。

#### 4. 再開 昇段昇格

昭和40年頃より仕事が軌道に乗り、余裕が出来たので、やっと弓を再開する事が出来ました。仕事が終わると道場へ、帰ってから夕食をとり一日が終わるといいう日が続きました。弓が再開出来た喜びと楽しさで充実し、毎日が過ぎて行きました。昇段昇格、また様々な大会への出場を果たしていくと、心身ともにますます充実してきたことを今でも記憶しています。

坂庭定雄先生が会長の時、先生に県の役員に任命され、昭和46年、理事長に就任しました。当時は審査事務も理事長の仕事でしたので、いろいろと忙しく仕事を行っていました。その後、昭和56年、三浦孝会長の時、副会長を任命され3期努めさせていただきました。

当時の日弓連の講習会は各県から1名の選抜制であり、私は何度も研修会に参加させていただきました。研修会には各流派一流の先生方が居られ、体配にも射術にも厳しかったと思います。又、弓の手入れ、火入れの方法、矢の手入れなど、教本では学ぶ事の出来ない数多くの事を教えていただきました。

昇段については、昭和40年12月四段、昭和41年6月五段、昭和43年5月錬士、昭和45年5月六段、昭和48年11月教士、昭和50年11月七段、平成12年9月八段、平成16年5月範士。

昇段昇格で思い出深い事は、八段は自分には無理ではないかと思っていた折、当時の日弓連会長の鴨川先生から「範士になるには、実力で八段に合格しなければなりませんよ」と言われた事です。この先生の言葉に奮起して、今まで以上に稽古を積み、4回目の挑戦で八段合格、そして範士を拝受出来ました。

射会に於いては、昭和55年全日本弓道大会教士の部五位、昭和59年全日本弓道大会教士の部二位になった事が思い出されます。また、伊勢崎支部で毎年行っている108射会では97中が最高の中で、現在でもこの記録は破られておりません。

全日本弓道選手権出場は、昭和48年、49年、50年、51年、52年、54年、55年、56年、8回出場しています。国体選手として、昭和43年福井、46年和歌山、47年鹿児島、48年千葉、49年茨城、5回出場しています。また国体成年女子監督として、昭和53年長野、54年宮崎、55年栃木、57年島根、58年群馬、59年奈良、6回参加し全て入賞しています。

#### 5. 思い出深い特別演武

昭和43年、皇居内に弓道場があり、本多流、小笠原流、日置流の親善射会が行われ、本多流の一員として参加させていただきました。

最も思い出深いのは、平成10年京都御所の濟寧館で行われた全国弓道大会に於いて特別演武を行った事です。平成9年京都御所の濟寧館で行われた全国弓道大会で、当時の日弓連会長の鴨川先生より、「来年の5月のこの大会で本多流の特別演武をして貰いたい」との要請を四世宗家が受けられました。本多流生弓会の理事会で検討の結果、本多流にとって大変名誉なことであるという事で、これをお受けすることになりました。参加する人選にあたり、支部として最もまとまりのある伊勢崎支部が、とり行うことに決定し「墓目」を披露することとなりました。陣容としては、射手 大島善春、祝詩 下境郁二、介添 小林正美、大刀持ち 大谷忠義、替弓持ち 小林國雄、矢取介添 倉林博。それからは会員の皆様の応援を得て、本番直前まで猛稽古が続きました。

平成10年5月実施した「本多流墓目」は本多流の威信をかけての渾身の演武で、全弓連でも高く評価され、面目を施されました。鴨川全弓連会長からも「非常に良く出来た、立派だった」とお褒めの言葉を頂き、大変感動したことを昨日の事のように思い出します。胃が痛かったことなども忘れ「弓をやっている良かった。生涯における最高の時だった」と思っています。

#### 6. 座右の銘

私が常に思っている事は、「我以外皆我が師」

自分では自分の姿が判らない、誰にでも気のついた所があったら見てもらい、素直に注意を受けるようにしなければならぬ。私自身も耳を傾けるように心がけています。

弓は何時になっても勉強が必要 完成が無く奥深い

## 本多流とは

明治時代に本多利實が日置流尾州竹林派の斜面の構えを正面の構えに改めて大三を取って後、引き分ける射法を創始した。

こうした新射法はいわば礼射と武射の融合とも考えられ、明治維新後の時代背景と相まって瞬く間に全国に広まった。この新射法は発案者である本多利實が東京帝国大学および旧制第一高校の各弓術部の師範となったことからここを拠点として広まったが、東京帝大出身者らが各界でそれぞれ重きをなしたことからやがて設立された大日本武徳会、そして戦後に設立された全日本弓道連盟においても本多流は中心的地位を占めるに至った。現在全日本弓道連盟において基本として指導されることが多いのも正面打起しの射法であるが、これも基本的に本多流の流れを汲むものであると言える。

本多流射礼には、巻藁射礼・墓目・鳴弦などがあり、特別な祭事等に行われている。

## <参考>

本多流明治弓道五人男

大平善蔵 道雪派、大日本射覚院創設、大日本武徳会範士  
阿波研造 東北大学師範、大射道教創設、大日本武徳会範士  
長谷部慶助 日本射徳会創設、大日本武徳会範士  
徳永純一郎 道雪派、大日本武徳会範士  
石原七蔵 大日本武徳会範士

## 県 総 合 表 彰

範士八段 須田 定雄

本連盟会長が、多年にわたり、公共福祉のため献身的に尽力された方として知事表彰されました。おめでとうございます。

スポーツ分野では、県クレール射撃協会会長、県体操協会副会長、県ハンドボール協会会長が表彰された。

## 武 道 功 労 者 表 彰

教士六段 近藤 清宏

永年にわたり、県連役員・地域弓道の振興・普及された功績により、県武道振興会より武道功労者表彰されました。おめでとうございます。

## 審 査 部 会

平成25年度群馬県弓道連盟第4次審査結果一覧（平成26年3月16・23日実施）審査会場：ぐんま武道館弓道場

段級位	無指定			初段B	初 段	貳 段	参 段	四 段	合 計
	貳級	壹級	初段						
受審者	363			1	56	94	25	25	564
合格者	2	100	245	1	50	37	4	5	
摘 要	欠席 16			欠席	欠席	欠席 2	欠席 1	欠席 2	

無指定 1. 弓道を始めたことで知った喜びと苦しみについて。 弓道を学んで良かったと思うこと。 弓道を始めて感じたこと。 2. 射法八節を列記し「足踏み」について。	初段 1. 弓道修練が日常生活にどのように生かされているか。 2. 射法八節を列記し「足踏み」について。
貳段 1. 道場で心掛けること。 2. 執弓の姿勢について。 射法八節を列記し「弓構え」について。	参段 1. 審査を受ける意義と心構えについて記して下さい。 2. 基本動作の注意点について記して下さい。
四段 1. 心気の働きについて。 2. 「詰合い」、「伸合い」の重要性について。	

## 中央審査昇段昇格者

審査種別	審査名称	氏 名	施行日
錬士	近畿地区 錬士臨時中央審査	雨 宮 巧	5月6日
七段	京 都 定期中央審査	田 中 義 裕	5月4日

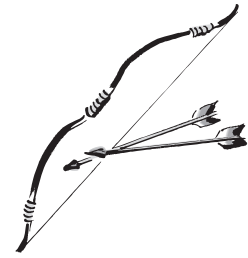
# 大会成績

## ◆第65回全日本弓道大会

5月2日 京都市勧業館「みやこめっせ」

第4位入賞（錬士の部） 邑楽館林支部 小俣 充 錬士五段

順位	氏名	称号段位	所属
優勝	佐々木 有紀恵	錬士五段	東京
2位	山内 綾子	錬士五段	大阪
3位	小原 裕幸	錬士五段	島根
4位	小俣 充	錬士五段	群馬
5位	森 康一	錬士五段	愛知



## ◆建国記念射会

2月11日 ぐんま武道館弓道場 参加者113名 8射

巻藁謝礼

本多流師範大島善春先生による巻藁謝礼が、厳かに行われた。

巻藁謝礼は、祭祀・式典・祝い事等の重要な儀式の際、その時代の式服を着用し、矢渡の前に行われる謝礼である。



矢渡 射手：須田 定雄 範士八段 介添：青木 五夫 錬士六段 洪沢 明 錬士五段

部門	順位	氏名	支部	的中	部門	順位	氏名	支部	的中
参段以下	優勝	齋藤美由貴	前橋	8	四・五段	優勝	古尾谷 茂	安中	7
	準優勝	下田 康弘	前橋	7		準優勝	須永 明	藤岡	6
	3位	天田 健太	前橋	6		3位	柳沢 徹	前橋	6
	4位	前田 彩	邑楽館林	6		4位	原澤 芳雄	利根沼田	6
	5位	関口 浩	前橋	6		5位	品川 祐子	前橋	6
	6位	新井ますみ	高崎	6		6位	郷 信一	太田	6
	7位	原 明日香	邑楽館林	5		7位	齋藤 真弘	甘楽	5
	8位	猪岡 勤司	前橋	5		8位	園田 賢二	みどり	5
	9位	赤石 知代	境	5		9位	塩谷 進一	前橋	5
	10位	石井 忠二	安中	5		10位	田村 雅由	境	5

部門	順位	氏名	支部	的中
称号	優勝	小俣 充	邑楽館林	7
	準優勝	名雪 篤一	前橋	6
	3位	小屋美ち子	桐生	6
	4位	星 和夫	安中	6
	5位	青木 五夫	高崎	6
	6位	森田 修一	北橋	5
	7位	根井 孝治	北橋	5
	8位	石川 忠弘	太田	5
	9位	茂木 照男	渋川	5
	10位	眞下 眞弓	伊勢崎	5



1～3位 前列から 参段以下 四五段 称号

## ○会長より感謝状贈呈

第68回国民体育大会弓道競技 少年男子（遠的）準優勝



前列 国体選手監督 後列 高校選抜選手監督

第32回全国高等学校選抜大会（男子団体）第3位



1月5日初射会 射道優秀賞受賞者

## ◆四毛連合対抗弓道大会

矢渡 射手：鈴木 康弘 教士八段 介添：星 四部門、選手20名による近的団体競技 各自10射

3月2日 ぐんま武道館弓道場 参加者107名

和夫 錬士五段 佐藤 利光 五段

連合会	参段以下	女子	四・五段	称号	合計	順位
東毛	28中	25中	22中	21中	96中	1位
中毛	28中	16中	24中	23中	91中	2位
北毛	17中	14中	27中	25中	83中	3位
西毛	16中	20中	24中	19中	79中	4位



東毛連合会  
前列から 参段以下 女子 四五段 称号



東毛連合会称号者による納射

## ◆第4回シニア弓道大会

矢渡 射手：近藤 清宏 教士六段 介添：谷山 邦明

3月14日 ぐんま武道館弓道場 参加者91名 10射

錬士六段 古尾谷 茂 五段

部門 順位	70歳未満			70歳以上の部		
	氏名	支部	的中	氏名	支部	的中
優勝	古尾谷 茂	安中	8	石川 忠弘	太田	8
準優勝	石川 邦男	みどり	7	雨宮 巧	太田	7
3位	郷 信一	太田	6	今井 誠一	榛名	6
4位	芹 澤 功	みどり	5	高橋 静夫	佐波あずま	5
5位	荒井 榮次	邑楽館林	5	小板橋 朝夫	榛名	5

部門 順位	女子の部			80歳以上の部		
	氏名	支部	的中	氏名	支部	的中
優勝	佐藤 まつ子	利根沼田	5	関根 七郎	伊勢崎	4
準優勝	尾池 とみ子	みどり	4	小又 秀雄	桐生	3
3位	片桐 典子	利根沼田	4	加藤 英之助	利根沼田	3
4位	伊藤 久子	呂楽館林	4	坂口 五百子	桐生	3
5位	須藤 芳江	みどり	3	金井 義則	安中	3



70歳未満



70歳以上



女子



80歳以上参加者

◆春季大会 (齊藤杯)

4月6日 ぐんま武道館弓道場 参加者158名 8射

矢渡 射手：須田 定雄 範士八段 介添：小林 稔 錬士六段 中村 敬一 錬士五段

部門 順位	参段以下			四五段		
	氏名	支部	的中	氏名	支部	的中
優勝	田村 涉	呂楽館林	7	前田 彩	呂楽館林	7
準優勝	松永 洋一	高崎	6	中島 博志	みどり	7
3位	片倉 義行	桐生	5	柳沢 徹	前橋	6
4位	天田 健太	前橋	5	阿部 淳子	伊勢崎	6
5位	藤生 博一	佐波あずま	5	大島 昭	伊勢崎	6
6位	石井 優奈	富岡	4	大塚 直斗	高崎	5
7位	須藤 芳江	みどり	4	静野 忠雄	高崎	5
8位	新井 ますみ	高崎	4	齋藤 真弘	甘楽	5
9位	鈴木 啓太	渋川	4	田中 敏久	北橋	5
10位	松井 佐一	境	4	室生 光雄	高崎	5

部門 順位	称号		
	氏名	支部	的中
優勝	諏訪 百合子	桐生	7
準優勝	小林 宏治	利根沼田	7
3位	小俣 充	呂楽館林	7
4位	森 崇宣	前橋	6
5位	眞下 眞弓	伊勢崎	6
6位	今井 誠一	榛名	6
7位	都丸 幸雄	赤城	5
8位	鹿木 良満	桐生	5
9位	森田 修一	北橋	5
10位	金子 祐次郎	みどり	5

団体

順位	支部	氏名	的中	計
優勝	楽館林邑A	前田 彩	7	25
		田村 涉	7	
		原 明日香	4	
		小俣 充	7	
準優勝	伊勢崎B	大島 昭	6	22
		阿部 淳子	6	
		武田 節夫	4	
		眞下 眞弓	6	
三位	利根沼田A	堀井 孝之	4	17
		神蔵 浩	2	
		小林 壽子	4	
		小林 宏治	7	



齊藤杯 優勝 小林宏治 錬士六段



団体優勝 呂楽館林A による納射





1位～3位前列から 参段以下・四五段・称号



団体2位



団体3位



年間5傑 前列から参段以下・四五段・称号

### 年間5傑 得点表

順位	参段以下		支部	得点
1	前田 彩	参段	邑楽館林	59
2	鈴木 啓太	貳段	渋川	34
3	赤石 知代	参段	境	28
4	齋藤 美由貴	参段	前橋	21
5	赤石 清志	参段	境	19

順位	四五段		支部	得点
1	静野 忠雄	四段	高崎	35
2	伊藤 晃	五段	北群馬	33
3	柳沢 徹	五段	前橋	32
4	田村 雅由	五段	境	26
5	須永 明	五段	藤岡	22

順位	称号		支部	得点
1	小俣 充	錬士五段	邑楽館林	45
2	高橋 香内	錬士六段	前橋	35
3	森 崇宣	錬士六段	前橋	24
4	田中 義裕	教士六段	富岡	23
5	小屋 美ち子	錬士六段	桐生	21

(得点：部門毎に10位入賞者に付与。1位＝10点 …10位＝1点。春季・7・9月例射・秋季・納射・初射・建国の7射会を対象。)  
(年度内での部門変更者は、確定日現在での部門とする。その場合、前部門の得点は消滅する。)

### ◆第1回シニア弓道大会

4月17日 ぐんま武道館弓道場 参加者110名 10射

矢渡 射手：近藤 清宏 教士六段 介添：芹澤 功 教士七段 金子祐次郎 錬士五段

部門 順位	70歳未満の部			70歳以上の部		
	氏名	支部	的中	氏名	支部	的中
優勝	原澤 芳雄	利根沼田	8	谷山 邦明	高崎	8
準優勝	都丸 幸雄	赤城	7	松井 佐一	境	8
3位	神蔵 浩	利根沼田	7	青木 五夫	高崎	7
4位	木村 裕	太田	6	園田 賢二	みどり	7
5位	関口 福一郎	桐生	6	今井 誠一	榛名	6

部門 順位	女子の部			80歳以上の部		
	氏名	支部	的中	氏名	支部	的中
優勝	古尾谷 洋子	安中	6	金井 義則	安中	6
準優勝	金古 悦子	高崎	6	後藤 勇	高崎	6
3位	小屋 美ち子	桐生	5	関根 七郎	伊勢崎	5
4位	志賀 洋子	利根沼田	4	小又 秀雄	桐生	5
5位	尾池 とみ子	みどり	4	田口 武司	桐生	4



70歳未満



70歳以上



女子



80歳以上参加者

最高齢者賞 男子：加藤 英之助 (88歳) 女子：高橋 瑞枝 (85歳)

◆女子部前期大会兼県選手権大会選考会

4月20日 ぐんま武道館弓道場 参加者86名 10射

部門	順位	氏名	支部	的中	部門	順位	氏名	支部	的中
参段以下	1	赤石 知代	境	7	四五段	1	石井 笑子	邑楽館林	8
	2	石井 優奈	富岡	5		2	藤林 直子	太田	6
	3	土屋 由	前橋	5		3	石井 夏美	佐波あずま	6
	4	江川 明子	富岡	5		4	亀井 美江子	伊勢崎	6
	5	横堀 弥生	前橋	5		5	武井 美栄子	渋川	6
称号	1	中橋 紀子	太田	7	総合	1	石井 笑子	邑楽館林	8
	2	諏訪 百合子	桐生	7		2	中橋 紀子	太田	7
	3	眞下 眞弓	伊勢崎	6		3	諏訪 百合子	桐生	7
	4	荒瀬 由美	高崎	6					
	5	原澤 かおる	利根沼田	4					



前列から 参段以下 四五段 称号



総合

◆群馬県小中学生春季大会

4月27日 ぐんま武道館弓道場

<p><b>【小学生の部】</b></p> <p>1位 上原 仁葉 2中 (安中 西横野小 5年)</p> <p>2位 足尾 遼 1中 (伊勢崎 赤堀東小 6年)</p> <p>3位 高松 舞羽 (伊勢崎 殖蓮小 6年)</p>	<p><b>【中学生男子の部】</b></p> <p>1位 佐藤 天彦 5中 (太田 休泊中 3年)</p> <p>2位 佐藤 月彦 4中 (太田 休泊中 1年)</p> <p>3位 早川 健太 3中 (伊勢崎 殖蓮中 3年)</p>
<p><b>【中学生女子の部】</b></p> <p>1位 押尾 充珠 3中 (共愛学園中 2年)</p> <p>2位 月岡 望 3中 (共愛学園中 3年)</p> <p>3位 武井絵里香 3中 (共愛学園中 3年)</p>	<p><b>【総合成績】</b></p> <p>1位 佐藤 天彦</p> <p>2位 佐藤 月彦</p> <p>3位 押尾 充珠</p>



小学生



中学生女子



中学生男子

◆第70回上信越弓道大会模様

古尾谷 茂

4月20日(日)長野県小諸市懐古園の桜が満開の中、懐古園内の小諸懐古射院に於いて多くの観光客が見守る中で上信越弓道大会が約90名の参加のもとで行われた。

群馬県からは10名参加した。四矢2回計8射行い個人戦は7中した3名で射詰め競射を行った。

古尾谷洋子(安中)が優勝し今井誠一(榛名)は3位となった。

団体戦では、高崎混成チームと安中チームが3位決定戦を行い高崎混成チームが入賞した。

# 連 合 会 活 動 報 告

## ◆北毛連合会春季大会

5月11日 月夜野弓道場 参加者56名 10射

矢渡 射手：金井喜四男 教士七段 介添：小池 千友 教士六段 篠原 淳一 錬士五段

部門	順位	氏 名	支部	的中	部門	順位	氏 名	支部	的中
小中学生	1	吉 野 泰 智	利根沼田	5	参 段 以 下	1	本 所 野乃花	吾 妻	6
	2	新 井 優 斗	渋 川	2		2	小 林 壽 子	利根沼田	5
	3	阿 部 龍 玖	利根沼田	2		3	石 坂 唯	吾 妻	5
						4	武 田 裕 光	渋 川	5
						5	神 蔵 浩	利根沼田	5
四五段	1	原 澤 芳 雄	利根沼田	7	称 号	1	小 池 千 友	吾 妻	8
	2	関 武 雄	利根沼田	6		2	篠 原 淳 一	赤 城	6
	3	関 松 太 郎	吾 妻	5		3	小 林 宏 治	利根沼田	4
	4	小 淵 弘 之	吾 妻	5		4	森 田 修 一	北 橘	4
	5	田 中 敏 久	北 橘	4		5	浦 野 礼 三	渋 川	4

### 団体戦

1位	吾 妻A	16中	(関 松太郎 5中	本所野乃花 6中	石坂 唯 5中)
2位	利根沼田E	12中	(片桐 勝 2中	片桐 典子 3中	原澤 芳雄 7中)
3位	渋 川A	11中	(新井 優斗 2中	柏戸 直仁 5中	吉澤 清和 4中)

# 高 体 連

## 平成25年度 第13回 東日本高等学校弓道大会結果

1. 期 日 平成26年3月22日(土)～24日(月)
2. 会 場 秋田県立武道館大道場特設弓道場
3. 参加数 男子20 都道府県44校 女子20 都道府県44校
4. 成 績

### ◎5人制の部

- 女子予選 清 明 19中 予選落ち (予選通過は8チームで25中以上)  
 市前橋 21中 予選落ち
- 男子予選 市前橋 28中 競射3 (成田4) 予選落ち (予選通過は8チームで28中以上1/2)  
 高 北 15中 予選落ち

### ◎3人制の部

- 女子予選 清 明 10中 予選通過 (予選通過は16チームで7中競射1/5)  
 市前橋 5中 予選落ち
- 男子予選 新田暁 9中 予選通過 (予選通過は16チームで9中以上)  
 高 北 6中 予選落ち

### 女子決勝トーナメント

- 1回戦 清 明 8-7 吉祥女子 (東京)

- 2回戦 清 明 6-8 松商学園 (長野)  
 男子決勝トーナメント  
 1回戦 新田暁 8-11 釧路北洋 (北海道)

### 平成26年度 県高等学校弓道春季大会

1. 期 日 平成26年4月19日 (土)  
 2. 会 場 (男子) 前橋市民体育館弓道場 (女子) ぐんま武道館弓道場  
 3. 参加者 (男子) 団体戦43校 補欠戦・個人戦 総計520名  
 (女子) 団体戦45校 補欠戦・個人戦 総計515名  
 4. 競技方法 団体戦は各校3名2チームが出場。  
 予選は各自4射計12射で男子5中以上、女子4中以上が予選通過。  
 決勝は各自4射計12射を行い、予選との合計で順位を決定。  
 個人戦は各自4射で2中以上が予選通過。  
 決勝は各自4射計を行い、予選との合計で順位を決定。

#### 5. 成 績

##### ◎団体戦 (同中は競射により順位決定)

								成績	競射
(男子)	1位	中之条B	(堀澤瞬太郎3年・内堀 義隆3年・黒岩 春志3年・小池 颯3年)	16中	3				
	2位	健大高A	(堀越 勇紀2年・上村 拓也3年・関 凌3年・民谷 恭成2年)	16中	2	1			
	3位	関 学A	(青木 勝世3年・秋澤 貴宏2年・青木 鷹平3年・荒澤麟太郎3年)	16中	2	0			
	4位	前 西B	(儘田 賢斗3年・阿部 哲哉3年・志岐 伊織3年・田中 理久3年)	15中	3				
(女子)	1位	太 商A	(栗田 紗希3年・新井 笑子3年・金子 夏己3年・倉澤 雅実3年)	15中	2				
	2位	清 明A	(大和 千春3年・鴨田 夏希3年・亀田 茉実3年・桜庭 美樹3年)	15中	1				
	3位	育 英A	(天笠 紗希3年・齋藤 萌3年・林 佑紀3年・高橋 怜奈3年)	14中					
	4位	市前橋A	(小林 愛美3年・白石 愛3年・八木原麻央3年・西田 知世3年)	12中	3				

##### ◎個人戦 (同中は1位のみ射詰競射, 他は遠近競射)

##### 成績競射

(男子)	1位	狩 野 悠 哉	(市前橋2年)	8中
	2位	阿 部 哲 哉	(前 西3年)	7中
	3位	土 屋 一 文	(中之条3年)	7中
	4位	内 堀 義 隆	(中之条3年)	7中
	5位	青 木 勝 世	(関 学3年)	7中
(女子)	1位	小 林 愛 美	(市前橋3年)	8中
	2位	亀 田 茉 実	(清 明2年)	7中
	3位	小 間 悠 衣	(富 東3年)	7中
	4位	天 笠 紗 希	(育 英3年)	6中
	5位	大 和 千 春	(清 明3年)	6中

### 平成26年度 第49回群馬県高等学校総合体育大会 弓道の部 (兼) 第58回関東高等学校弓道大会県予選会

1. 期 日 平成26年5月9日 (金) 女子団体予選・個人決勝  
 10日 (土) 男子団体予選・個人決勝  
 11日 (日) 男女団体決勝  
 2. 会 場 ぐんま武道館弓道場  
 3. 参加者 (女子) 45校 402名 (男子) 44校 391名  
 4. 競技方法 団体戦は各校3名1チームが出場。予選は各自8射, 計24射を行い, 的中順に上位16チームが予選通過。決勝も各自8射, 計24射を行い, 予選との合計で順位を決定。  
 個人戦は団体戦出場者を含めて各校12名以内が出場。予選は各自4射を行い, 2中以上が更に4射を行い, 予選の成績と合計して順位を決定する。ただし, 団体戦出場者は団体戦予選の成績をこれにあてる。

5. 成 績

◎団体戦

女子	学校名	選 手 名 (的中)	予選	決勝	合計	競射
1位	高 女	小林茉里奈(14)・桑原 眞衣(10)・竹内 佳乃(8)・萩原 清香	17中	15中	32中	
2位	市前橋	小林 愛美(14)・大崎 萌子(1)・八木原麻央(9)・西田 知世(7)	13中	18中	31中	
3位	大 泉	二木 衿奈(8)・秋山 杏奈(10)・小笠原まり(10)・宮下 佳奈	13中	15中	28中	
4位	藤中央	江田 歌誉(11)・西岡 璃南(9)・松本 優奈(7)・末永 未来	11中	16中	27中	2
5位	育 英	天笠 紗希(7)・齋藤 萌(12)・林 佑紀(8)・高橋 怜菜	12中	15中	27中	1
6位	太 商	栗田 紗希(8)・新井 笑子(6)・金子 夏己(12)・倉澤 雅実	11中	15中	26中	2, 2
7位	玉 村	渡辺香菜子(9)・佐藤 美和(11)・池野 詩織(6)・城田 瞳	13中	13中	26中	2, 0
8位	健大高	背黒 菜菜(9)・信澤 睦美(5)・木田 彩花(10)・小林あかり	14中	10中	24中	

9位 利商・前西 23中, 11位 高北・新田暁 22中, 13位 利根実 20中,  
14位 前商・太女 19中, 16位 富東 18中

男子	学校名	選 手 名 (的中)	予選	決勝	合計	競射
1位	前 東	松村 勇人(11)・竹之内柊平(11)・山本 凌也(11)・山本 昂樹	16中	17中	33中	
2位	中之条	堀澤瞬太郎(14)・内堀 義隆(11)・黒岩 春志(7)・湯浅 隼斗	16中	16中	32中	2
3位	健大高	堀越 勇紀(13)・田島 隆大(11)・関 凌(4)・丸茂 大貴(4)	17中	15中	32中	1
4位	清 明	柳沼 泰輝(11)・竹澤 敦生(10)・新 司(10)・磯部 智久	16中	15中	31中	
5位	市前橋	狩野 悠哉(9)・今井 秀政(3)・長嶋 柊作(6)・大谷 和希(12)	14中	16中	30中	1, 2
6位	新田暁	武井 晃一(10)・岡田 伊織(9)・佐藤 翔太(11)・板橋 幸樹	16中	14中	30中	1, 1
7位	青 翠	阿部 孔祐(8)・浅田 剛志(10)・都丸 翔柁(11)・角田 朋暁	15中	14中	29中	3
8位	藤中央	並木 優(9)・小倉 直樹(9)・白井 友大(11)・生方 恒介	13中	16中	29中	2

男女上位各4チームが6月6日(金)～6月8日(日)に神奈川県海老名運動公園総合体育館特設弓道場で実施される第58回関東高等学校弓道大会に出場する。

◎個人(同中は1位のみ射詰競射－5本目からは8寸の星的を使用, 他は遠近競射)

女子	氏 名	校名(学年)	成績	競 射
1位	小 林 茉里奈	高 女(3年)	7中	○
2位	小 林 愛 美	市前橋(3年)	7中	×
3位	田 中 楓	興 陽(2年)	7中	×
4位	背 黒 菜 菜	健大高(3年)	6中	
5位	佐 藤 美 和	玉 村(3年)	6中	

男子	氏 名	校名(学年)	成績	競 射
1位	下 谷 弘 樹	渋 工(3年)	8中	○○
2位	佐 藤 大 地	農 二(3年)	8中	○×
3位	須 崎 友 也	樹 徳(3年)	8中	×
4位	丸 茂 大 貴	健大高(3年)	8中	×
5位	堀 澤 瞬太郎	中之条(3年)	7中	

# 支部だより

(紙面の都合上、順不同になっています。)

## 安 中

連絡員 上原とも恵

- ◆3月月例射会 3月8日 松井田城址広瀬弓道場 参加者17名 12射  
 ①古尾谷 茂 8中 ②清水 廣輝 8中 ③星 和夫 7中
- ◆春季大会 4月29日 松井田城址広瀬弓道場 参加者27名 12射  
 ①近藤 清宏 ②清水 廣輝 ③古尾谷 茂 ④星 和夫 ⑤石井 忠二
- 25年度 ○金井杯 優勝 清水 廣輝 ○全射会出場賞 梅木 ちほ ○最高的中率賞 石井 忠二  
 ○最高的中賞 古尾谷 茂 ○最高年齢出場賞 小坂橋和志次

## 伊 勢 崎

連絡員 齊藤 昌之

- ◆平成26年 三支部合同初射会兼1月度月例射会 1月19日 伊勢崎市境弓道場 参加者71名 10射  
 伊勢崎支部順位 (合同初射会順位)  
 ① 北所恵美子 8中 (総合優勝) ②大島 昭 6中 (総合5位) ③ 小保方直行 6中 (総合6位)  
 ④ 大谷 忠義 5中 (総合7位) ⑤山本 剛 5中 (総合8位)  
 参段以下優勝: 小保方直行
- ◆大島先生・黒崎五段米寿祝賀射会兼2月度月例射会 2月9日 参加者35名  
 矢渡 射手: 関根 七郎 介添: 櫻井 節子、新木 源助  
 祝射: 持的 (下境 郁二・大木 三郎・小澤 徳治・眞下 眞弓・小林 正美) 他略式祝射  
 答礼射: 大島 善春範士
- ・2月度月例射会 参加者39名 10射  
 ①大島 昭 7中 ②大木 三郎 7中 ③眞下 眞弓 6中 ④阿部 淳子 6中 ⑤梅田 智昭 5中  
 参段以下優勝: 梅田 智昭
- ◆伊勢崎・桐生親善射会兼3月度月例射会 3月9日 勢崎市営弓道場 参加者58名 10射  
 ①眞下 眞弓 8中 (総合優勝) ②小保方直行 7中 (総合3位) ③大島 昭 6中 (総合4位)  
 ④深代 忠 6中 (総合5位) ⑤齊藤 昌之 6中 (総合6位)  
 参段以下優勝: 小保方直行  
 団体戦結果は、伊勢崎84中対桐生66中で、大差をつけ4年振りに伊勢崎支部が勝利。

### 平成25年度年間十傑並びに月例皆勤者

10傑 (カッコ内は獲得ポイント、◎は皆勤)

- 1位: 眞下 眞弓 (51) 2位: 深代 忠 (48) 3位: 北所恵美子 (45◎) 4位: 大谷 忠義 (41◎)  
 5位: 橋本 幸男 (40◎) 6位: 齊藤 昌之 (37◎) 7位: 梅田 智昭 (36) 8位: 小保方直行 (31)  
 9位: 大木 三郎 (30◎) 10位: 大島 昭 (27)

### 皆勤者

阿部 淳子、新木 源助、小澤 徳治、小林 国雄、菊池 輝雄、山嶋 敏夫、吉沢 孝夫、根岸 啓子

## 太 田

連絡員 中村 民雄

### ◆平成25年度 月例結果

月	部門	優勝	2位	3位	月	優勝	2位	3位
4	参段以下	平田 晃子⑨	荒井 榮次⑦	星 春菜⑥	7	大川 開彦⑧	松島 聡美⑧	藤林 路浩⑦
	四段以上	小俣 充⑧	東山 武美⑧	梶原 充吾⑧		広瀬 浩⑧	梶原 充吾⑧	藤林 直子⑥
	射 詰	大川 開彦				中橋 紀子		
5	参段以下	平田 晃子⑨	藤林 路浩⑧	星 春菜⑥	8	大川 開彦⑧	巻島 敏江⑤	板橋 香奈⑤
	四段以上	小俣 充⑨	岩本ふさ子⑥	郷 信一⑤		広瀬 孝子⑧	梶原 充吾⑦	石井 秀明⑥
	射 詰	星 春菜				吉田 遥		
6	参段以下	平田 晃子⑧	板橋 香奈⑤	東 利樹⑤	9	星 春菜⑧	荒川 貴⑦	巻島 敏江⑥
	四段以上	横田 俊春⑧	中村 民雄⑦	広瀬 孝子⑤		梶原 充吾⑧	木村 裕⑦	広瀬 孝子⑦
	射 詰	中村 民雄				郷 信一		

月	部門	優勝	2位	3位	月	優勝	2位	3位
10	参段以下	板橋 香奈⑥	藤林 路浩⑥	巻島 敏江⑥	1	田村 渉⑦	藤林 路浩⑦	星 春菜⑥
	四段以上	富岡 武文⑨	山本 拓哉⑥	広瀬 孝子⑥		藤林 直子⑨	小俣 充⑨	中平 正彦⑧
	射 詰					田村 渉		
11	参段以下	藤林 路浩⑦	吉川 剛⑤	大川 開彦⑤	2	星 春菜⑥	荒川 貴⑥	巻島 敏江⑤
	四段以上	藤林 直子⑧	梶原 充吾⑧	小俣 充⑥		藤林 直子⑨	郷 信一⑧	小俣 充⑧
	射 詰	岩本 敬一				荒井 榮次		
12	参段以下	藤林 路浩⑦	町田 悦男⑥	星 春菜⑥	3	平田 晃子⑧	荒井 功次⑥	板橋 香奈⑥
	四段以上	藤林 直子⑨	郷 信一⑦	東山 武美⑦		木村 裕⑧	雨宮 巧⑧	郷 信一⑦
	射 詰							

全て10射。同中の場合、低段者上位とする。同段の場合は遠近競射。

## 甘 楽

連絡員 古川 康夫

- ◆初射会 甘楽町弓道場 10射  
 ①石田よし江 6中 ②松井喜重郎 6中 ③高橋 和子 5中
- ◆3月例射会 甘楽町弓道場 10射  
 ①松井喜重郎 7中 ②石田よし江 4中 ③秋本 和夫 4中

## 桐 生

連絡員 関口福一郎

- ◆2月例射会 2月23日 桐生市弓道場 参加者24名 10射  
 矢渡 射手：小屋美ち子 錬士六段 第一介添 青柳 護 錬士六段 第二介添 荒木 崇文 参段  
 五段以下 ①関口福一郎7中 ②久保 悦朗7中 ③新井 伸司5中 ④今井 靖夫4中 ⑤馬場 芳雄4中  
 称号 ①青柳 護7中 ②小林 詔一6中 ③鹿木 良満6中 ④小屋美ち子5中 ⑤肥塚 正雄5中  
 総合優勝 関口福一郎 [射詰競技] ①関口福一郎 ②鹿木 良満 ③新木 崇文
- ◆3月例射会兼伊勢崎親善射会 3月9日 伊勢崎市弓道場 参加者37名 10射  
 矢渡 射手：関根 七郎 教士六段 第一介添 眞下 眞弓 教士六段 第二介添 川端 文夫 教士六段  
 五段以下 ①馬場 芳雄6中 ②藤本 和男5中 ③久保 悦朗4中 ④今井 靖夫4中 ⑤佐藤シズ江4中  
 称号 ①肥塚 正雄7中 ②小林とし子5中 ③鹿木 良満5中 ④小又 秀雄4中 ⑤小屋美ち子4中  
 親善射会 総合優勝 眞下 眞弓8中 [団体戦] 伊勢崎84中 桐生66中 [例射会] 総合優勝 肥塚 正雄
- ◆4月例射会 4月27日 桐生市弓道場 参加者54名 10射  
 矢渡 射手：小屋美ち子 錬士六段 第一介添 青柳 純江 錬士六段 第二介添 今井 靖夫 四段  
 学 生 ①関口 瞳5中 ②錦 悠斗5中 ③阿由葉冬佳4中  
 五段以下 ①久保 悦朗8中 ②藤本 和男7中 ③片倉 義行6中 ④青木 幸子6中 ⑤馬場 芳雄6中  
 称号 ①諏訪百合子8中 ②小又 秀雄7中 ③前原 清美6中 ④鹿木 良満6中 ⑤小屋美ち子6中  
 総合優勝 諏訪百合子 [射詰競技] ①馬場 芳雄 ②藤本 和男 ③阿由葉冬佳  
 25年度 ○最多優勝者 久保 悦朗 ○射詰最多優勝者 鹿木 良満  
 ○年間五傑 ①馬場 芳雄 ②鹿木 良満 ③青柳 護 ④小屋美ち子 ⑤久保 悦朗

## 境

連絡員 茂木 明

- ◆2月例射会 2月9日 伊勢崎市境弓道場 参加者12名 10射  
 ①松井 佐一 7中 ②中村 敬一 6中 ③増子 浩史 6中 ④高木 正博 5中 ⑤一木 光一 5中
- ◆3月例射会 3月9日 伊勢崎市境弓道場 参加者17名 10射  
 ①辻 政弘 6中 ②中村 敬一 5中 ③田村 雅由 5中 ④遠藤 弘樹 5中 ⑤小野里照代 4中
- ◆総会射会 4月13日 伊勢崎市境弓道場 参加者22名 10射  
 ①田村 雅由 8中 ②松井 佐一 7中 ③山洞 淳子 5中 ④飯塚 勝亮 5中 ⑤遠藤 弘樹 5中

## 佐波 あずま

連絡員 鈴木 千陽

- ◆1月度月例射会 1月19日 参加者25名 10射  
 ①新井 弘明 7中 ②齊藤 昌之 5中 ③月岡 望 5中 ④橋本 幸男 4中 ⑤茂木 定男 4中

## ◆伊勢崎市弓道協会女子射会

2月23日 参加者11名 10射

①立石 圭子 7中 ②眞下 眞弓 7中 ③中嶋 令子 5中 ④石田 夏美 4中 ⑤小此木良江 4中

## ◆3月度月例射会

3月9日 参加者17名 10射

①新井 弘明 6中 ②小此木良江 6中 ③月岡 望 4中 ④矢澤 勝明 3中 ⑤小林 稔 3中

**高 崎**

連絡員 橋爪由里子

## ◆初射会

1月19日 高崎市弓道場 参加者48名 6射

参段以下 ①久保田慎太郎 4中 ②松永 洋一 4中 ③佐藤 玉紀 4中 ④角田 午朗 3中 ⑤泉 佳代子 3中

四五段 ①古尾谷 茂 5中 ②室生 光雄 5中 ③静野 忠雄 4中 ④原田 孝夫 4中 ⑤佐藤 利光 2中

称号 ①荒瀬 由美 4中 ②谷山 邦明 4中 ③洪澤 明 4中 ④小板橋朝夫 3中 ⑤後藤 勇 3中

総号 ①室生 光雄 ②古尾谷 茂 ③荒瀬 由美

## ◆2月月例会

2月9日 高崎市弓道場 参加者28名 10射

参段以下 ①吉田 千真 8中 ②石井 忠二 6中 ③新井ますみ 3中 ④久保田慎太郎 3中 ⑤佐藤 玉紀 2中

四五段 ①古尾谷 茂 10中 ②静野 忠雄 6中 ③小金澤準一 6中 ④曾根 光子 5中 ⑤原田 孝夫 4中

称号 ①星 和夫 5中 ②谷山 邦明 5中 ③後藤 勇 5中 ④荒瀬 由美 3中 ⑤小板橋朝夫 3中

総号 ①古尾谷 茂 ②吉田 千真 ③静野 忠雄

## ◆3月月例会

3月9日 高崎市弓道場 参加者28名 10射

参段以下 ①吉田 千真 6中 ②阿部 道江 5中 ③新井ますみ 5中 ④泉 佳代子 5中 ⑤長野 容道 3中

四五段 ①曾根 光子 6中 ②金古 悦子 4中 ③兼子 和子 4中 ④静野 忠雄 4中 ⑤小金澤準一 3中

称号 ①青木 五夫 7中 ②谷山 邦明 7中 ③荒瀬 由美 6中 ④小板橋朝夫 2中 ⑤洪澤 明 2中

総号 ①谷山 邦明 ②青木 五夫 ③吉田 千真

**洪 川**

連絡員 岸 正江

## ◆25年度上期、下期月例射会総合成績表

順位	4月	5月	6月	7月	8月	9月
優勝	岸 正江	岸 正江	武田 裕光	高山 政成	武井美栄子	武田 裕光
準優勝	小林 正二	武井美栄子	茂木 照男	都丸伊佐男	反町 亮	武井美栄子
3位	青木トシ子	清水 巖	宮川 義雄	武井美栄子	富田千代次	小林 正二
4位	武井美栄子	武田 裕光	高橋 浩	長岡 昭好	小林 正二	小林ミノル
5位	浦野美由紀	百合草典子	反町 亮	反町 亮	浦野 礼三	近内 尚志

順位	10月	11月	12月	1月	2月	3月
優勝	鈴木 敬太	小林 正二	小林 正二	大谷 幸雄	茂木 照男	武井美栄子
準優勝	武田 裕光	大谷 幸雄	大谷 幸雄	清水 巖	武田 裕光	浦野 礼三
3位	小林ミノル	反町 亮	反町 亮	岸 正江	高山 政成	反町 亮
4位	茂木 照男	武井美栄子	武井美栄子	小林 正二	小林 正二	小林 正二
5位	大谷 幸雄	長岡 昭好	長岡 昭好	武井美栄子	大谷 幸雄	大谷 幸雄

総合優勝 武井美栄子 2位 武田 裕光 3位 小林 正二 4位 大谷 幸雄 5位 反町 亮